

広 報

ながしま

2007
No.15 平成19年

幻想的な光の乱舞

5月下旬、小浜川の川内付近で撮影。川から近くを通る
県道まで、たくさんのホタルが飛び交っていました。



たくさんの町民が「知事と語る会」に参加

視察

宮路畜産を訪問し、肉用牛の一貫経営について話を聞き、匂いのしない土壌に興味を持たれました。



黒之瀬戸大橋の耐震対策補修事業を視察。補修の工法などについて確認されました。



薄井漁港を拠点とした水産業の取組について説明を受け、ブリ養殖の現状を把握されました。



国道389号の上り浜地区の修景施設整備や橋梁工事について、県担当者から説明を受けていました。



獅子島の片側で、町担当課が樹園地のかんがい施設等、生産基盤の整備状況について説明しました。



サンレディーながしま加工組合で施設を確認し、トコロテンやこっぱ餅などを試食されました。



15年ぶりに 県知事と住民対話集会

第26回知事と語る会開催

語る会には、伊藤知事のほかに川添健町長や中村眞県議会議員、町民ら約400人が参加。知事が司会を務めて進行し、町民14人と意見を交換しました。

冒頭、知事が「ざつぐばらんに質問なり考えを教えてください。ただきたい」とあいさつして会は始まり、町民から農林水産物の販路拡大や観光拠点の整備、道路の進捗状況、獅子島架橋の実現などさまざまな質問や要望が出されました。

知事の隣で意見交換を聞いていた町長は「知事からもあったように、獅子島架橋や3県架橋の問題など、10年間のうちには難しいこともありましたが、その他要望されたことは明解に答えていただいたので、町づくりの努力のし甲斐があるなと思いました」と語って、集会を締めくくりました。

伊藤祐一郎県知事と県民との住民対話集会「第26回知事と語る会」が5月21日、長島町開発総合センターで開催されました。

今回の語る会にあわせて、知事は21日と22日の2日間、サンレディながしま加工組合や獅子島島内、萬サバ畜養などを視察しました。



七郎山山頂からの絶景を楽しみながら、獅子島架橋やウォークラリーの話がなされました。



伊唐大橋を眺めながめ、橋の高さや車両の通行台数等を確認されました。



獅子島の海岸で化石を発掘しました。「この島は海底が隆起してできた島でしょ」などと質問されました。



海峡お魚育成グループを訪問。茅屋漁港で、試食しながら「萬サバ」畜養について話を聞きました。



伊唐



茅屋



幣串



片側

町内各地で知事を歓迎しました

知事と語る会

主な質疑応答

質問＝町民

回答＝知事

農林水産物の輸出に力を

質問 日本の社会は少子高齢化が進み、子どもたちの魚離れが指摘されています。魚の消費量は10年後には2割くらい落ちるだろうというなかで、これからは海外にも目を向けていかなければならないと思っています。

そこで県の対応についてのお願いですが、農林水産物の輸出に関して、もっと力を入れていただきます、スピー

ディーに対応していただきたい。

回答 東町漁協の魚の輸出はいろいろな形で努力をしてこられました。EU諸国、香港ですとかアジアをにらんだ輸出の体系をとろうとしておられます。アジアの国々に対して、ブリとか鹿児島県の農産物であるとか、特に中国等に向かつて輸出されるのは近いうちにくる話だと思っています。少なくとも10年くらい後には、そういうことが活性化するのではないかと思います。

従いまして、鹿児島県の農林水産物は地産地消というのにも良いのですが、地産他消という他のところで食べていただくというのが本来の進むべき方向かと思っています。

販路を開拓するためのイベントでありますとか、できれば上海に物産センターでも置いてこれから長期的な意味での、鹿児島県の農水産物の輸出体制をとらなければならぬと考えております。県としてできることは、何でも協力いたします。なによりもこの

地域で良いブリをつくっていただいて、世界中に輸出するくらいの志でやっていただければありがたいと思います。

観光地の整備と林業振興

質問 長島の観光拠点となるのは黒之瀬戸大橋周辺ではないかと思っています。そこで物を売ったり、休憩したりする場所ばかりではなく、釣堀とか釣った魚を刺身にしてお土産にしてもって帰れるというような場所を考えていただきたい。

そして9、800万年前クビナガリュウがいた獅子島を観光の目的にして、船で遊覧をしながら獅子島へ行って、1日遊んで帰るというようなルートもできます。そのようなことで、努力していただきたい。

次に、林業に対する考え方は、日本の木材はどん底に陥っています。林業へのお金の使い方も考えていただいで、山を持つている方々が「よかつたな」といわれるような施策をお願いします。

回答 県は「魅力ある観光地づくり事業」として観光地の整備を進めておりまして、今年には12億円であります。

長島町からは3カ所要望があり、一つは取り上げたところですが、二つ目が黒之瀬戸の公園の整備でした。

現在、駐車場のところの面積が十分でないで、谷になっている部分を埋めて駐車場を拡張しようという話は現実の課題としてあります。米ノ津川の河川改修事業で大量の土砂がでますから、それを使って拡張することによって、駐車場の整備ができるのではないかと思います。来年度くらいから、そういう事業が具体化するのかなと思っています。

そして、その上の方に車で上がるような道路を取り付けたいという話でありました。確かにあそこにとると、黒之瀬戸の橋をはさんで両方が見えますし、パノラマ的な素晴らしい景観の所でもありますので、長島の売りどころと思っています。そういうこと

で今後、努力をしていきたいと思っています。釣堀等の話は、民間レベルの話として整備していくのかなと思います。

獅子島の化石の話は、もう少し学問的にトレースをした上で、観光客用の資源としての活用も十分考えられると思いますので、知恵を出さないといけないと思います。

林業の問題は、日本全国、鹿児島でも産業としては苦しい状況になっていまして、山が非常に荒れてきています。

国は林野庁が地球環境保全の観点から入ってきましたが、枝打ちとか下刈りとか、そういうことをやるお金を大々的に予算づけしています。新しい山の再生に向かっての動きが現実のものになったのだからと考えています。林業全体では、鹿児島は年々山が使われなくなっています。木材の価格は低迷していますが、切ればきるほど損をするという状況のもとではあります。だんだんと木材の価格も持ち直してきまして、国産材の安定的な利用を図る時代

が近いうちに来るのではないかと思います。

きちつとした林業の木材を必要とする人と、木材を産出して供給する人とのデータベースの交換の場をつくれば、やがて林業が産業として成立するのではないかと目に見えてきていますので、そういう努力を県としてもしていきたいと思っています。

林業の方もいらつしやると思います。一番苦しい時は乗り切ったのではないかと思います。



↑埋め立てが進められる黒之瀬戸大橋付近

鷹巣ダムの水質改善

質問 かんがい施設を鷹巣で

ダムを中心に整備をしていたきました。

しかし、ダムの水質が悪く、作物が枯れていくという問題が出てきています。施設物への影響が大変大きいようです。

この水質改善をどうするかということでも町にも相談をしています。これがといった事業が見つからず苦慮しています。そのような事業があったらご指導いただきたいと思っています。無いようでしたら、県単独でも土地改良区の受益者を助けていただけたらと思っています。

回答 鷹巣ダムが塩素が高くなってしまうと、作物の栽培へ適さなくなってしまうと、原因を究明されておられるようです。

土地改良区のためにつくったダムから、それをどういう形で利用するかというのは難しい課題がありまして、例えば施設園芸の方々が使ったときの問題等について、どういような事業の形態が現実的にあるのか。そこ

らあたりが制度としてまだ無いです。土地改良区の方々が自分たちの畑地のかんがい等に使うというのが前提でつくられたダムではないかと思えますので、それを利用した場合の他の農業の形態について

どうい問題が起こるかというのは、我々も勉強したいと思っています。そして、ダムが水質の汚濁をきたしているというのであれば、生活用水が入り込んだか、何かそういうのが原因であることも考えられます。そうだとすると周辺の方々にきちつとした生活用水等の処遇についても協力をお願いしなければいけないのではないかと考えています。

だいたい問題の所在までは分かってきているようでありますので、ちよつと時間をおいて整備をしたうえで、今後の対応を図るということになると思います。

平尾地区の県道整備

質問 県道長島宮之浦港線の平尾地区の整備促進について要望します。

同線は随時整備されているわけですが、浦底の工事が済み、その後いよいよ平尾の番かなと期待をしていました。しかし、その工事が鷹巣の本町通りの整備にいつていると聞いています。1路線1カ所しか整備できないと説明を受けておりまして、何年かかって平尾地区の道路が整備されるのかなと危惧しています。なんとか1路線2カ所でも整備できないものか、平尾の活性化にご協力いただけないでしょうか。

回答 県道として主要な道路の1地区であることは間違いないと思いますが、人家が多いところに新しい道路の整備をするとなると、移転補償費等で財政的な支出を伴います。道路をつくるときの9割が補償費という道路が現時点で成立し得るかどうか、私もしっかりと考えてみたいと思います。それだけの事業費があれば、他にやれるところがたくさんありますので、そういう道路については後回しをして、他の地域との競争力を

もった地域基盤をつけるとなると、いままでのやり方では鹿児島は追いつかないところまで来ています。そういう判断をせざるを得ない時期なのかなと自分に言い聞かせているところです。

今の質問は良く分かりますし、皆さんの期待が強いのは分かるのですが、残念ながらここでのいつの時点からはじめますというおこたえは、今なかなかできない状況にあります。



↑離合するのが困難な平尾地区の県道

諸浦地区の県道整備

質問 県道葛輪瀬戸線についての要望ですが、現在本浦工

区は着工していただいています。残りの2^{丁目}も用地買収はできていますので、1日も早い完成をお願いします。

回答 用地等の補償が全部終わっているというのであれば、やらなければならないのではないかなと思います。今のところ平成25年までかかる道路としての位置づけです。



↑葛輪瀬戸線の未整備区間（諸浦地区）

獅子島架橋の実現

質問 長島町の行政を担当する方、県会議員の方、国会議員の方は選挙公約として獅子島架橋の実現ということをおっしゃるのですが、知事から獅子島

架橋ということばを聞いていません。地元、県、国と3者が一体となって運動することによって夢も叶えられるのではないかと考えています。

我々は道州制が導入されると長島は見捨てられると考えています。そこで、知事には道州制がはじまるまでには島民の希望の火を消さないようにして、知事から「獅子島架橋について努力をします」と何らかの形としてできないものかお願いします。

回答 獅子島架橋のことを念頭に入れて獅子島へ来たことが2回くらいあります。獅子島の場合は、先にやらなければいけないのは生活・生産基盤の整備です。橋をつくっても生活・生産基盤がしっかりしないと、獅子島の方々の生活の向上にはなかなかいかないのではないのかなというのが私の考え方です。

伊唐の場合は、農業生産をより高めるための道路として農道橋ができました。ところが獅子島は林道しかありません。従って、今のところ県が

事業主体となって橋を架ける道路がありません。

次の問題として、橋をつくらねばならないとすると2百数十億かかると思います。そうすると、そのお金を投資してそれだけの生産効果があるかどうかという判断をしたときに、残念ながら今ではその数値がでてこないです。

そうだとすると、今は可能性をいろいろ探らなければいけないと思いますが、獅子島のいろんな意味での生産基盤、生活基盤を向上する方向での具体的な、更なる努力を重ねるのが先なのではないのかなというのが、私の現在の考え方です。

それから道州制の話と獅子島架橋の話、長島の振興をどう図るかというのとはあまり関係がないと思います。道州制になったから見捨てられる地域があるというのも少々誤解でありまして、道州制というのは府県は消えますが、いろんな地域ごとに活性化の動きが起こります。長島はいつたん状況が変われば、これだ

けの風光明媚なところですので、アジアの時代になり、アジアから観光客が来たときには、非常に可能性を持った地域でもあります。観光に対して体制をつくらうというのは正しい方向だと思います。自信をもってこの島の振興を図っていただきたい。

獅子島の方々の気持ちも分かっていますので、大変苦しいお答えをしていますが、順序からいったら生活基盤、生産基盤を先にしないと進まないと考えています。

長島高校跡地の活用

質問 3月に閉校となりました県立長島高校の跡地利用の問題について、県の考えをお聞きしたいと思います。

地元としても行政、議会に与えられた重要課題として議論をし、各方面で企業等の招致運動をしてきました。現在のところ良い結果はでていません。なんとか地域活性化のためにも有効利用ができないものか、県はどのようにお考えか伺います。

回答 町では、企業を訪れて誘致についての努力をしておられるようですが、なかなか実を結ばないというお話があります。

鹿児島県も実は一生懸命企業誘致に力を入れているところです。産業形態がアジアの中で、日本と韓国、中国、台湾を含めてアジア大陸に一番近い九州の可能性が改めて大きくなってきているのではないかと考えています。従って、将来をにらめばやがて鹿児島県の立地可能性が従来より大きく高まるだろうという期待があります。そういうこともあって、企業誘致アドバイザーとか専門員を任命したうえで努力をしているところです。

鹿児島県で1年間に新たな立地件数が30件くらいです。そんなに数が多いわけでもありません。まだ長島まで届いていないのかもしれない。

この施設を一括して活用するというのがあれば、他にもいろんなアイデアもあります。

が、企業誘致は大きな選択肢の一つだと思います。今後とも、町は町で努力を重ねていただき、県は県で立地可能性として企業に提示をしますの
で、一緒に頑張って今後とも努力をしていきたいと考えています。



↑有効活用したい長島高校跡地

小浜海水浴場の整備

質問 小浜海水浴場は、県から青少年旅行村ということで指定を受けて現在も続けています。この施設の老朽化が進んで、入村客数も減少しています。そこで、魅力ある観光地づくり事業を進めておられるということですので、ぜひ

海水浴場を兼ねた青少年旅行村の施設の改善に力を入れていただけるようお願いします。

回答 町でも新たな振興を考えておられるようです。シャワーなどの施設の整備を町としてはやりたいということ
で、取付道路や進入道路、駐車場などの整備を県にお願いしたいということであり
ます。県としても協力することはやぶさかではありません。観光地づくり事業の中で、最大限の協力をさせていただきますので、小浜の海水浴場が今後賑やかになることを期待しています。

汐見地区の災害対策

質問 汐見集落には約80戸の世帯があり、2百数十人が住んでいます。山間が狭いため
に人家は川沿いに建っています。町でも土砂崩壊危険区域に指定を受けています。

10年ほど前に砂防ダムを建設していただきましたが、昨年の北薩の豪雨災害の時に、このダムの上流で土石流が発

生しまして、ダムのおかげで助かりました。

今回、汐見地区で土砂災害訓練が実施されることになっていますが、想定では汐見小学校が避難場所になっていま
す。しかし、避難場所そのものが危険な場所、まさかの場合は避難できません。そこで、避難できる館を建設して
いただけないかという考えです。

それから、建設してありますダムの下流にもう1カ所ダムを建設していただきたい。
というのもダムの下流にもいくつも山間がありまして、そこで土石流が発生すると人家
にくるということです。県の財政も苦しいということであり
ますけれども、どうか検討
いただきたいと思います。

回答 急傾斜地崩壊対策事業等の事業が鹿児島県では非常に大きな事業として出てきま
す。土石流等が発生するところ
がたくさんあります。改めて国では、そういうところは特別警戒地域としての指定を
したうえで整備に入ろうと

しているところです。

汐見地区が具体的にどうなっているのか分からないので明確なおこたえはしませんが、いずれにしても専門家に見てもらって、どうい
うな手法を講ずれば一番良いのかという判断をしてもらいたいと思います。これは人命に関わることでもあります
ので、道路みたいに待ったというわけにはいきません。改めて専門官に地域全体を再調査
させます。



↑昨年、汐見地区で発生した土砂崩壊

ボランティアの組織化

国際交流への補助

質問 知事のマニフェストの

一つであります共生協働の中で新しい村づくり、新しいボランティアという町おこしを活動としてNPO活動があるわけですが、この地域においてはまだまだ啓発が足りないという状況です。県としてもっとボランティア活動の組織化ということで啓発に励んでいただきたい。

もう一つが国際交流という部門において、補助の枠がないのです。補助申請しまして、町づくりや介護、福祉には補助がありますが、国際交流となると補助が受けられない状態になっています。

ぜひ枠を広げていただいて、鹿児島県からクロアチア、アフガニスタン、アフリカであっても支援できる、貧しい人々を助けるという働きができるようにしていただきたい。

回答 町づくり等については、ボランティアの方々などいろいろな形で活躍をしていただきつつあります。そして21世紀は、共生協働の時代とい
いますか、人口も減ります

し高齢化しますので、みんな
で力を合わせて住んでいる町
を守る以外に、我々の地域社
会を守る道は残されていない
と考えています。共生協働と
いうのをずっと言い続けてい
まして、共生協働が21世紀の
一番のキーワードじゃないか
と考えています。

ボランティアの組織化につ
いては、NPO法人をつくり
まして鹿児島県内のボラン
ティアの情報交換部みたいな
ものをつくるべく努力をして
います。ボランティアをして
も良いと思う人、それからそ
れを受けたい人等、いろいろ
な人たちがいますから、そう
いう人たちの情報交換の場を
われわれで設定しまして、そ
こで意見交換をしていただ
く。その中でボランティアの
組織化等を図るということに
なるかと思っています。ぜひとも
そういうような組織を利用し
ていただければありがたいと
思います。

それから国際交流等の話が
でしたが、具体的なNPO
法人の補助活動については、

あまり大きな金額ではないで
すが、一定の補助ができるよ
うな仕組みはつくっていま
す。

県としての制度は、国際交
流だからといって閉ざしてい
るわけではありませんので、
チャレンジしていただきたい
と思います。

3 県架橋の実現

質問 鹿児島県の長期振興計
画の中に、天草・長島架橋の
構想が盛り込まれました。そ
れを基にしまして地元では期
成会をつくり、関係市町村、
政財界団体の皆さんと一緒に
なって運動を展開し、国や県
に要望しています。

それから熊本県、長崎県が
架橋構想を長期振興計画の中
に盛り込まれ、それが基に
なって3県架橋の期成会に登
展をしてくれています。

天草・長島の関係は、地
質、海流、観光対策などにつ
いても調査は終わっている
という段階でもありますし、空
から陸から調査をしていた
だいているところです。従いま

して、天草5橋や黒之瀬戸大
橋と合わせて力を入れて、架
橋実現に努力をすべきではな
いか。そうすることが観光地
づくりも一歩前進するのでは
ないかと思っています。

現在までの3県架橋の進捗
状況と今後について、知事の
考えを伺いたい。

回答 3県架橋については、
3県で力を合わせて努力を重
ねているところです。もし
て、だんだんと熟度は高まっ
てきつつあるのかなというこ
ろです。

長島・天草・島原ルートと
いうことですが、とりあえず
は長島・天草ルートというこ
とになるのではないかと思
います。

建設費用などの概算等が出
せるところまでできていると思
いますから、後は具体的にど
ういう形で事業化を図るか
というところまでできている
かと思っています。

天草5橋と合わせて長島ま
で来ることによって、国道3
号線の代替ルートとしての機
能を持ちえる道路でもありま

す。

天草5橋や長島は、極めて
快適なドライブルートとして
の整備ができると思いますの
で、観光の振興にも大きな役
割があると思います。

九州新幹線が博多まで結ば
れますがそれを利用しつつ、
この天草・長島架橋等を利用
した新しい観光の形態、いろ
いろな可能性が開けると思
いますので、そういう努力も
するべきではないかと思いま
す。

今は協議会等でその可能性
を探っているところでもあり
ますし、具体的に次のステッ
プに向けての努力を行政側と
してもしないといけないと思
います。

高校職員住宅等の活用

質問 高校の教職員住宅につ
いてお尋ねします。

住宅も古くなつて建て替え
なければならぬ状態になっ
ています。その中には築5年
くらいの新しい住宅もありま
すので、町へ払い下げしてい
ただけないものなのか、少子

化対策や若者が定住するた
めにもお願いしたい。

回答 町としても利用形態を
考えておられると思います
が、長島高校の施設等の問
題についてはいろいろとお話
しをしたいと思っています。建
物等については、国の補助金
が入っていますので、施設の
整備は若干工夫が必要では
ないかと思いますが、有効利
用していただけるのなら、な
なりと有効利用していただき
たいと思います。法律の問題
さえぬけば、今後ともどう
いう活用をしていくかを考
えていきたいと思っています。

獅子島架橋の実現

質問 獅子島の架橋につ
いて、島民として言いたい
のは生活の道路がとても大切
なことであって、そこが
できれば違う産業なり橋
があるからできることも
広がるのではないと思
います。

そこに住む子どもたちの
声が島から消えていきま
す。この声が島から消え
ないよう、みんなの願
いで架橋を

現らせていただきたいと思ひます。私は現役のPTAなので、何とかならないものかと思ひます。生活するに不便ですが、島で生活する女性が威張つて「この島は良いところだよ。安心して子ども産めて、疲れたら遊びにもすぐ行けるよ」と言えるようになりたいです。この島は自然の魅力が詰まった宝の島です。道がつながることで産業も拡大し、中高年の生きがいも増えると思ひます。現在深刻な少子化と高齢化にも大きな利益があると思ひています。

暮らしやすい夢のあるアイランドに向かって機会があるごとに叫んでいきたいと思ひます。

回答 可能性を制度上探る、財源的な可能性を探るというのは精一杯やっているのですが、なかなか現実的なレベルで可能性のある道は見つからないという状況です。時代が変われば何らかの道があるのかもしれないですが、今の状況では、獅子島には県道も無い状況でもありますので、国の



↑伊唐島 - 獅子島間を獅子島側から望む

長島にとどまる観光

質問 3県架橋で心配なのは長島が橋脚にならないかという事です。とどまらない観光地になつてもらつても困ると思ひます。その例が四国に橋がありますが、橋ができるまでは喜んだのですが、今ではその島にとどまる人がいません。そのようにならないように、県としても方策を考え

ておいていただきたい。じゃあどうするのという事です。が、宿泊施設がなければいけないという事です。今ある施設を利用して、例えば民泊とかできるような方策、港の使用を住民に任せるような方策、それからここは光ファイバーが通じていません。高速のインターネットを使用しようとしてもできません。このあたりを整備すれば、長島にとどまつてもらえると思ひます。

3県架橋とともに、長島が橋脚にならないような方策をしていたいただきたいと思ひます。

回答 3県架橋もそんなに簡単にいく話ではありません。それまでには、高速のインターネット等の整備は済むだろうと思ひます。いずれにしても長島から情報を出せるような努力を、今の時点ではじめなければいけないだろうと思ひます。

これからは、インターネットを利用したお客さんがどんな来る時代でもありますので、それは今の時代でも来られると思ひますから、きちつとした情報さえあれば、東シナ海へ沈む真つ赤な夕日の光景さえホームページに乗つかれば、そういうことも可能だと思ひますので、努力をしていきたいと思ひます。

ふるさと納税

今、クローズアップされていますが、国においても前向きに検討されているようです。この実現に努力をしていただきたいと思ひますし、そうすることに於いて地方財政がある程度の足しになるのではないかとと思ひております。行政としてもありがたいことではないかと思ひますので、ご尽力をお願いいたします。

回答 ふるさと納税は、都会に住んでいる人が、自分のふるさとに税の一部を払い込むということを認めるべきではないかという意見であります。

これは難しい制度でありまして、ふるさとと言っても本

籍地なのか出身地なのか自分が好きなのところなのか、このふるさと納税を鹿児島県内でも認めるのか、鹿児島市に住んでいる人が長島から来られたから長島に税金を払いますということが可能なかなどを含めて、これから大議論になると思ひます。

これが認められるとなると、長島町の方々は全国に散らばっている長島の出身者のところを回らなければならなくなると思ひます。鹿児島県は私が全国を回らなければならぬということになります。それが近代国家の税制として正しいかどうか、もう少しきちつと考えないとうまくいかないかもしれないというのが、今の私の受け止め方です。ただ、東京都だけに税金が集りすぎているので、何かそこを考えないといけないという事で今回の話になつていきますから、地方公共団体同士の財源調整の話の一貫として、これからもう少しプロの目で制度設定が行われるのではないかと思ひます。

河川氾濫を想定した水防工法訓練



現地に設置された災害対策本部



汐見小から潟公民館へ2次避難する住民

避難勧告発令により汐見小へ避難

大雨の季節に備え 汐見地区で防災訓練

梅雨期を前に、土砂災害を想定した防災訓練が5月27日、汐見地区でありました。消防団や町の担当者、地元住民ら計約240人が参加。情報伝達訓練や水防工法訓練、避難経路等を確認しました。

訓練は、梅雨前線による集中豪雨で汐見地区に土石流が発生し、町が住民に避難勧告を発令したという想定で実施しました。

県と町、消防分遣所、阿久根警察署などの間で災害情報の伝達訓練を行い、汐見小学校に現地災害対策本部を設置。ポンプ車や広報車などが地区内のパトロールに出発しました。

その後、住民避難勧告が発令され、地区内の住民が同小学校へ素早く避難し、消防団や町職員らは住民を誘導したり、無事に避難したかどうか身元を確認したりしました。

同地区では、昨年7月の鹿児島県北部豪雨災害時に、集落内を流れる尾川内川の上流で土砂崩壊が発生しましたが、砂防ダムによってなんと

か土石流の発生を阻止することができました。

訓練で想定された災害の概要

九州から本州付近に伸びた梅雨前線の活動により、鹿児島地方気象台は、「出水・伊佐・川薩・始良では、5月27日宵のうちにかけて、局地的に雷を伴い1時間に60ミ以上の非常に激しい雨の降るおそれがあり、降り始めからの雨量は多いところで250ミに達する見込み。土砂災害、河川の増水や氾濫、浸水害に厳重に警戒してください。落雷、突風、高波に注意が必要」として出水・伊佐を対象に大雨・洪水警報を発表しました。

さらに、鹿児島県と鹿児島地方気象台は、大雨による土砂災害発生危険度が非常に高まったことから、「土砂災害警戒・浸水警戒」を発表しました。

①発生要因 梅雨前線による集中豪雨
②被災想定 汐見地区の土石流により人家10戸全壊、25戸半壊（人身被害なし）。

6月は土砂災害防止月間です

6月1日から30日までの期間は、「土砂災害防止月間」です。

梅雨期に入り、集中豪雨などによる土砂災害が心配されるこの時期に土砂災害防止に対する町民の理解と関心を深め、防災知識の普及を図るとともに、警戒避難体制の整備等を促進し、被害の防止や軽減を図ることとしています。

大雨や台風、地震などによる土石流やがけ崩れ等の土砂災害が発生すると、多くの尊い人命が失われます。土砂災害から生命を守るため、日ごろから次の点に注意しましょう。

雨の降り方に注意しましょう

土砂災害発生の危険度が高まった時、県と気象台が共同で土砂災害警戒情報を発表しています。この情報が発表さ

れた場合は、雨量情報などに注意して自主的な非難を心がけ、役場からの避難勧告などがあつた場合は、速やかに避難してください。記録的な豪雨が降つた場合は、これまで経験したことがないような土砂災害が起こる危険性があります。これらの情報には十分注意しましょう。さらに、雨が降りやんだ後でも、土砂災害は発生するおそれがありますので注意してください。

土砂災害の前ぶれを知っておきましょう

土石流に対しては、「山鳴り」「立ち木の裂ける音」「石のぶつかりあう音が聞こえる」「雨が降り続けているのに川の水位が下がる」「川の水が急に濁り、流木が混ざりはじめる」。地すべりに対しては、「地面にひび割れがで

きる」「沢や井戸の水が濁る」「斜面から水が吹き出す」。がけ崩れに対しては、「がけからの水が濁る」「がけに亀裂が入る」「小石がパラパラ落ちてくる」「異様な音がする」。これらが一般的な土砂災害の前ぶれです。長雨が続いている時、身の回りのこのような現象に気づいたら、自主避難の目安にしましょう。

危険箇所を知っておきましょう

家の近くにある土砂災害危険箇所を確認しておきましょう。もしわからなかったら、役場か県地域振興局建設部等へ問い合わせてください。

避難場所を決めておきましょう

いざという時に家族全員が家に揃っていないくても、避難場所がわかっていれば安心です。

避難の手順を確認しましょう

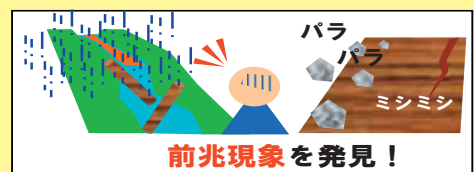


役場から
避難準備情報が発令

避難に時間がかかる人、
災害時要援護者等は
避難開始
その他の人は避難準備

役場から**避難勧告・避難指示**が発令

防災無線による対象地域全員の避難の呼び掛け
消防車両等による避難の呼び掛け
戸別訪問による避難の呼び掛け



自主防災組織、
公民館長
もしくは
役場総務課へ連絡

**避難所へ
避難開始**

早めの避難を心がけよう

逃げ方を知っておきましょう

土石流のスピードは大変速いため、土砂の流れる方向に対して直角に逃げるのが大切です。

被害を最小限に抑えるため、これらの点に注意して、早めの避難を心掛けましょう。

鷹巣子ども教室が開講

←開講にあたり児童
や保護者らにあいさ
つする中橋教育長



児童たちの放課後の居場所づくり

放課後、児童の面倒を見てく
る仕組みが無かった鷹巣小学校
(内野眞校長・児童181人)で

5月7日、

『鷹巣子ど
も教室』が
開講しまし
た。

この教
室の目的
は「子ども
たちの居場
所づくり」
で、放課後
に音楽室や
図工室など
の余裕教室
を活用しま
す。予習・
復習等の学
習の場、ス
ポーツ・文
化等の体験

の場、地域の人や異年齢との
交流の場、お手玉やメンコ等
をする遊びの場など、子ども
たちに安全で健やかな居場所
を提供します。

同校音楽室で行われた開講
式には、この教室に通う48人
の児童たちとその保護者らが
出席。中橋藤七教育長が「前
例のない活動で、試行錯誤の
中で運営していくことになり
ますが、理想的な教室にして
いきたい」とあいさつ。続け
て児童の面倒を見てくれる指
導員4人が紹介され、同教室
はスタートしました。

鷹巣子ども教室の竹島憲和
委員長は「手探りの状態での
スタートとなりますが、子ど
もたちにはそう経験できない
貴重な体験を楽しんでもら
いたい」と話していました。

毎年7月は

“社会を明るくする運動”

強化月間です

標語

防ごう犯罪と非行

助けよう立ち直り

重点目標

犯罪・非行の防止と更生の援
助のため、地域住民の理解と
参加を求める

“社会を明るくする運動”
は、すべての国民が、犯罪の
防止と罪を犯した人たちの更
生について理解を深め、それ
ぞれの立場において力を合わ
せ、犯罪や非行のない明るい
社会を築こうとする全国的な
運動です。
家庭の対話を充実させて犯
罪や非行を未然に防止しま
しょう。

海から天にかける美しい島づくり



総務省は地方独自のプログラムを自ら考え、前向きに取り組む地方公共団体に対し、地方交付税等の支援措置を講じる「頑張る地方応援プログラム」を平成19年度からスタートさせます。

本町においても独自の「海から天にかける美しい島づくり」プロジェクトを策定し、魅力あるまちづくりや町の活性化のために応募しますので、その内容を公表します。

目的・概要

長島町は県の最北西部に位置し四方を海に囲まれた風光明媚な島です。北に長崎県、熊本県天草を控え3県架橋構想も具現化しようとしています。本町は、海と夕陽と緑の豊かな自然が最大の魅力であり、産業資源・観光資源でもあります。これを護るとともに

に育て、活用していくことが最大の課題です。平成19年3月31日、景観行政団体になったのと平行して景観条例を公布し、本格的に全町的な景観づくりに着手しました。メイン事業として長島の玄関口である黒之瀬戸大橋周辺の公園、展望所、観光の発信地となる物産館、駐車場の整備をするともに、島内一周道路の路傍に町花の水仙等を植栽し、造形美術展の造形展示施設整備、展示場の石積み公園整備、日本一の養殖ブリを生かしたサミットなど町の活性化とイメージアップを図り、都市と農漁村の交流人口、観光客等の倍増を目指します。

具体的な成果目標

平成18年度の観光客の入込み数は、公園関係が438、700人、海水浴場が15、200人、計453、900人となっています。本事業の

3年後は2倍の900、000人の入込みを目指します。交流人口は造形美術展が70、000人、プリサミットが500人、定住人口がU・Iターン5組10人を目指します。

プロジェクトの期間

平成19年度を初年度として3年間

政策分野の分類

観光振興・交流プロジェクト

事業・施策

長島アートギャラリー

2年に1回開催している「造形美術展」は平成8年に日本イベント大賞を受賞した、住民総参加の本町の一大イベントです。現状ではほとんど廃棄されている作品を展示・保存する施設の整備や造形美術展の展示会場を石積みによる公園として整備するなど新たな観光資源とします。事業費 3、000万円

平成19年度は1、500万円
黒之瀬戸うずしお公園整備

町の玄関口として、観光の発信地となる案内所と併設の長島の特産品を販売する物産館、その周辺整備を町内でなじみの深い石積み、町花の水仙、町木の椿等の素材や造形美術展の作品展示等特色のある公園を整備します。事業費 2、000万円

平成19年度は1、000万円
ぐるっとフラワーロード

本町は周囲40^キの一周道路が幹線道路となっています。路傍には数年前から地域住民による水仙の植栽が行われ、春には水仙ウォークも行われています。途中には景勝地、史跡、段々畑など人文景観も多く、この一周道路に四季を通じて楽しめる水仙、彼岸花、さつきなどを住民参加により植栽し、美しい道路に整備します。事業費 3、000万円

平成19年度は1、000万円
かえっておいでよ60歳

スローライフ（田舎暮らし）を希望する団塊の世代や

若者を対象に、島内の空家を整備し提供します。町が所有者から買い上げ、トイレ、台所等を改修して賃貸住宅として整備します。賃貸とすることで短期的な田舎暮らしを体験してもらうことも可能となります。希望者には農地も斡旋します。定住を希望する場合は、5年経過後に入居者が買い取れるようにします。事業費 3、000万円

世界プリサミット

「これからのブリ養殖」と題し、国内の主要生産地の代表者を集めた会議を開催します。サミットの主催地として、東町漁協の取り組みを発表し、話題提供とします。イベントの中で、ぶりの食べ方を研究（料理コンテスト）することにより、特産品開発や消費拡大につながるものを見つめます。姉妹盟約をしている韓国吉祥面、鹿児島大学の留学生などと魚食文化についての交流会を開催し、長島町の国際化（交流）を図ります。事業費 500万円

交通事故防止多彩にP R



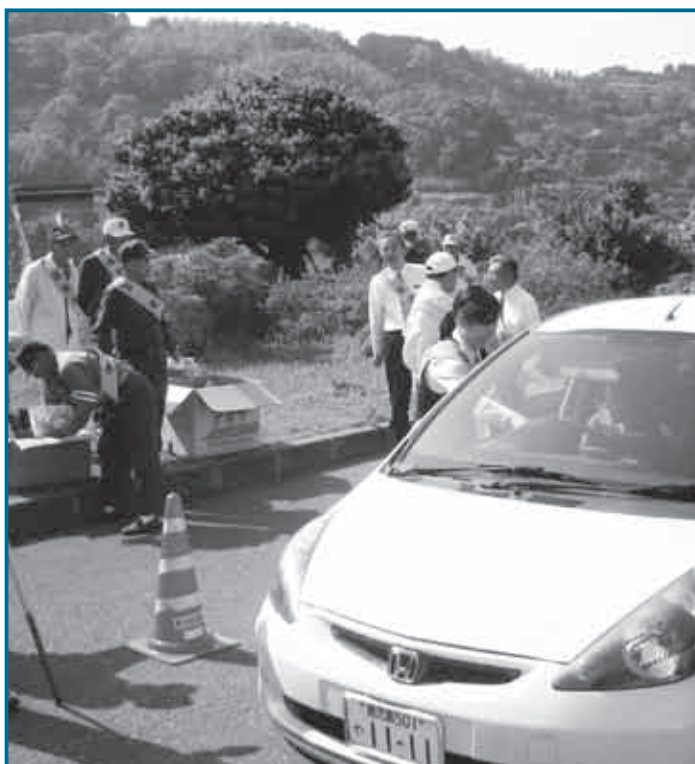
↑ホクホクのジャガイモを配って交通安全をP R

交通安全を訴えようと町内2カ所で、町民らが一斉に交通事故防止を呼びかけました。

ジャガイモ作戦

5月3日、交通安全ジャガイモ作戦が指江庁舎駐車場で行われ、交通安全協会長島西支部、同青年部、ライオンズクラブの会員やボランティアらが参加しました。

同日は、早朝から関係者がジャガイモを蒸してパック詰めし、五つ太鼓で盛大に作戦がスタート。阿久根警察署員の誘導のもと、参加者は国道389号を通過する車のドライバー一人ひとりに、蒸しジャガイモとチラシを配布しながら、元気な声で「安全運転をお願いします」と呼びかけました。



↑声をかけながら青オサを配布する参加者

青オサでキャンペーン

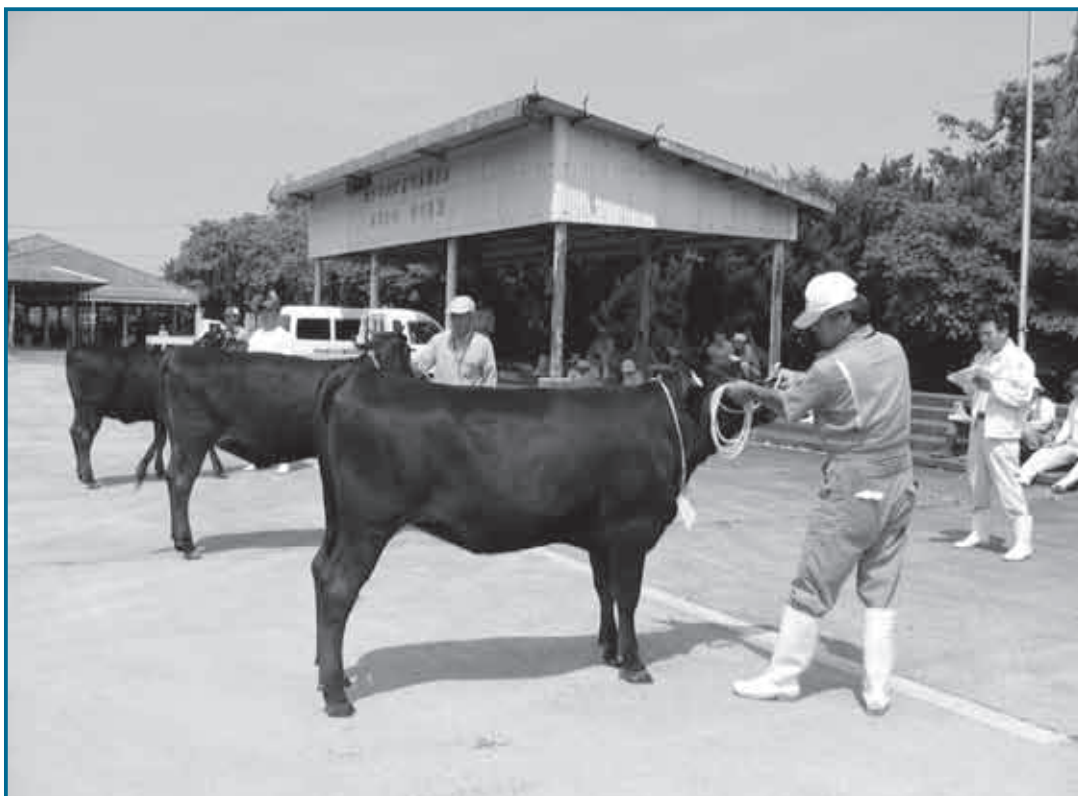
春の交通安全運動が始まった5月11日、交通安全協会東支部は赤崎橋パーキングパークで交通安全キャンペーンを実施しました。

このキャンペーンには、同

会員や東町漁協、鹿児島相互信用金庫職員らが参加。県道葛輪瀬戸線を行き交う車のドライバーに、青オサと啓発チラシを配布して、安全運転を呼びかけました。

体型の優美さや改良の成果を競う

←厳正に行われた審査の様子



長島町春季畜産共進会

春季畜産共進会が5月14日、毎床家畜検査場で盛大に開催されました。

出品牛は、町内から39頭出場し、1部、2部に月齢ごとに個体審査と比較審査が行われ、グランドチャンピオン賞に浦底の山口正成さん所有牛「てるこ」号が選ばれました。

(出品者名で記載)

種牛1部 (セリ終了後、12カ月)

最優秀賞

1席 平田保男

2席 倉田裕徳

3席 浦底初男

4席 倉田裕徳

5席 杉本 弘

6席 宮路幸雄

優秀賞 宮路幸雄／古川修一

／町田光彦／出永一文／門元

政文／宮路 司／久保 豊

種牛2部 (13カ月、19カ月)

最優秀賞

1席 山口正成

2席 山口正成

3席 山口 忠

4席 竹之内郁郎

5席 山口 忠

6席 杉本 弘

7席 内田秋宏

8席 古川修一

9席 宮路義輝

10席 横山知房

優秀賞 福山健一2頭／市尾

徳／町田光彦2頭／横山知房

／丸尾実義／出永一文／池田

良廣／宮路幸雄／浦底初男3

頭／内田秋宏／長元峰男／門

元政文

グランドチャンピオン賞

2部1席 山口正成

出水地区春季畜産共進会

出水地区春季畜産共進会が5月22日出水中央家畜市場で開催され、出水地区内の育成牛36頭が2部門に出場しました。

本町からは1部に5頭、2

部に9頭が出場し、1部の1席と2席、2部の1席から3席まで本町の出品牛が独占。グランドチャンピオン賞に浦底の浦底初男さん所有牛「かえで51の1号」号が選ばれました。

入賞者は次のとおりです。

種牛1部

最優秀賞

1席 浦底初男

2席 倉田裕徳

優秀賞 杉本 弘／倉田裕徳

／宮路幸雄

種牛2部

最優秀賞

1席 山口正成

2席 山口 忠

3席 山口正成

6席 竹之内郁郎

7席 宮路義輝

優秀賞 内田秋宏／古川修一

／横山知房／杉本 弘

グランドチャンピオン賞

1部2席 浦底初男

6月は町県民税（普通徴収分）

第1期分の納付月

『納期限は7月2日（月）です』

平成19年度の町県民税額が決定され、納税通知書、納付書を各地区の納税組合長さんあてにまとめて発送します。

この町県民税は、一般的に住民税とも呼ばれ、県や町の仕事に必要な経費を広く町民の皆様から、その能力に応じて負担していただくための税金です。

次のことに留意して納期限までに納付してください。

納める人は

- 1 平成19年1月1日現在、長島町内に住所のある人
- 2 長島町内に住所はないが、事務所・事業所または家屋敷のある人

納める額は

○均等割額：年額4、500円

県民税1、500円

（うち500円は、森林環境税）

町民税3、000円

○所得割額：前年の所得金額から

基礎控除や扶養控除等の各種控除を行った「課税標準額」（課税の対象となる金額）をもとに算出されます。

・県民税では、課税所得金額の一律4%の額を納めていただくことになります。

・町民税では、課税所得金額の一律6%の額で納めていただくことになります。

平成19年からあなたの所得税・住民税が変わります

今年度から国から地方への税源移譲により、ほとんどの方は、1月分から所得税が減り、そのぶん6月分から住民税が増えることになりました。

しかし、税源の移し替えなので、「所得税＋住民税」の負担は基本的には変わりません。

町長動静 5月

- 1日 水俣病犠牲者慰霊式（水俣市）
- 知事と合併町村との懇談会（鹿児島市）
- 3日 交通安全ジャガイモ作戦（指江庁舎）
- 7日 鷹巣子ども教室開講式（鷹巣小学校）
- 9日 長島町自衛隊父兄会総会（長島町開発総合センター）
- 10日 鷹巣村づくり委員会総会（町内）
- 11日 獅子島振興会（獅子島アイランドセンター）
- 交通安全協会東支部総会（町内）
- 14日 県漁港漁場協会理事会（鹿児島市）
- 県庁道路維持課陳情（鹿児島市）
- 長島町4Hクラブ設立総会（町内）
- 15日 県高規格幹線道路建設促進協議会総会（鹿児島市）
- 16日 全国治水砂防協会通常総会（東京都）
- 17日 長島町身体障害者連絡協議会総会（長島町保健福祉センター）
- 18日 県建設業協会出水支部総会（出水市）
- 長島町商工会第1回通常総会（長島町商工会館）
- 21日 知事と語る会（長島町開発総合センター）
- 22日 知事案内（町内）
- 25日 水俣病被災者救済と地域振興に関する要望活動（東京都）
- 28日 担い手育成総合支援協議会設立総会（長島町役場）
- 県漁港漁場協会通常総会（鹿児島市）
- 29日 県家畜畜産物衛生指導協会理事会（鹿児島市）
- 31日 出水地域農政企画会議（出水市）
- 公共事業連絡会議（出水市）

町立図書館おすすめBOOK

新刊紹介

図書館に置いてある最新本の中から
おすすめのものをピックアップ。
バラエティーに富んだ
新刊を紹介します。

町立**指江**図書館 / 電話 0996-88-6500

心身の管理から人間関係や仕事に至るまで、敏感すぎる人には良い結果が訪れないことをさまざまな事例で結論づけていく。他人の褒め言葉に対して、すぐに図に乗るくらいがちょうどいいという。恋愛でも、鈍感でめげない男が最後に思いを遂げると説く。



鈍感力

渡辺 淳一 著

町立**鷹巣**図書館 / 電話 0996-86-1111

LAST LOVE

Yoshi 著



子ほど離れた年の差を越え、2つの孤独な魂は惹かれ合っていく。だが、運命は、過酷な選択を2人に迫る。そして、2人が選んだ道は……その愛はあまりにも深すぎた。真実の愛の意味を問う、悲しくも美しい物語。

長島文芸

明神俳句会

枇杷は黄に夕日留まる島港
一日を脱ぎて重たき服の汗
いもの苗植えて勘定奉行かな
車椅子押す孫二人鯉のぼり
若武者の意気込み高く初のぼり
新しき医師を迎えて島五月
枇杷熟るクルスの島や威銃

長島短歌会

幸薄き母娘を訪ねて庭先に
咲きほこる百合に暫し安堵す
引き潮を待ちて貝捕りに行く友等
足もろき我は見送りて立つ

平山 風鳥	迫口 君代	筑前 初市	大堂 早苗	関 佳代美	平山 勝子	二階堂妙子
吉田 映子	岩下 ち江					

ささやかな保育園の庭の菜の花に
黄の番ひの蝶止まりある
我の目の疎きこの頃犬槌の
黄の色濃くて庭のはなやぐ
祝旗掲げし船団逆潮の
瀬へのしづきを跳ね進みゆく
朗ろうと初音すがしき不如帰
我が住む里の山に響けり
炒豆腐作りて老の食卓を
にぎあわせたり魚も焼きて
朝靄の中に自在に下がりある
藤の花房太木にあまた
海風で吹き来る風に咲き初むる
白百合淡き匂ひ放てる
棚つけて亡夫と待ちあし赤藤の
二三輪の花終へて春逝く
山路ゆく芽吹きいのち瑞瑞し
忍冬の香我を癒せり

岩下ふさよ	岩富八代子	榎平 頼子	米尾 和子	長野 敬	中山タマエ	浜田美代子	浜畑 松枝	林 ヒロ
-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------

一般の方の作品

短歌

何事もやる気を持つと出来るもの
自分の事よ意気甲斐なのよ

町田 末則

俳句

八十の姉の筆跡枇杷届く

川添 行秋
(神奈川県)

知 得 情報ボックス

防火管理者資格 取得講習会

平成19年度の防火管理者資格取得講習会が次のとおり開催されます。

○講習日時

平成19年7月25日(水)～
7月26日(木)

午前9時～午後5時

○講習場所

阿久根市中央公民館

第1会議室

○定員 30人

○受講申込受付期間

平成19年6月18日(月)～
7月10日(火)

(郵送については、当日消印有効)

○受講料

3,500円(テキスト代含む)

【申込・問い合わせ先】

阿久根地区消防組合

警防課予防係

Tel 0996・72・0119

東分遣所

Tel 0996・86・0119

長島分遣所

Tel 0996・88・5333

児童手当の現況届

児童手当を受けている人は、6月中に「児童手当現況届」を提出することになって

います。この届けは、受給者に義務付けられたもので、6月1日現在における状況を記載し、児童手当を引き続き受ける要件があるかどうかを確認するためのものです。

提出がない場合は、受給資格があっても6月分以降の手当が受けられなくなります。下記日程により受付を行ないますので、早めの提出をお願いします。

○受付期間

平成19年6月1日(金)～6月29日(金)

○手続きに必要なもの

①現況届

②印鑑

③受給者(通知の宛名の方)名義の健康保険証のコピー

※国民年金以外の年金に加入している方

○その他必要に応じて提出していただくもの

・平成19年1月1日時点で長島町に住所がなかった人
①児童手当所得証明書
※平成19年1月1日時点で住所のあった市町村税務課で発行。

・児童と別居されている人(住民票が別住所となっている人)

①別居している児童の住民票謄本(世帯全員のもの)
②生計監護同一申立書

【問い合わせ先】

役場町民福祉課

Tel 0996・86・1111
内線1118

北薩広域行政事務 組合の事務所移転

北薩広域行政事務組合の事務所を出水市分庁舎から出水市野田支所2階に移転しました。

○移転日 平成19年5月28日

○新住所

〒899・0502

出水市野田町下名7035

○電話番号

(代表)

Tel 0996・63・2111
(直通)

総務課 庶務係

Tel 0996・84・4815

介護認定審査課

Tel 0996・84・4811

FAX

0996・84・4817

風力発電施設環境 影響評価書の縦覧

長島黒之瀬戸風力発電株式会社では、長島町下山門野1235・1に計画されている風力発電施設の環境影響評価書の縦覧を行います。

○縦覧期間 平成19年7月2

日から7月31日まで(土・日

曜、祝日を除く)

○縦覧場所

役場企画財政課

○事業者長島黒之瀬戸風力発電株式会社

福祉の担い手に なりませんか?

(企) 労協センター事業団
出水地域福祉事務所オープン

ハウス「さくらんぼ」では、「訪問介護員要請研修2級課程講座」受講生を募集します。今、ヘルパー2級の資格を習得すると、500時間にもおよぶ研修のうち150時間が免除されます。

介護に興味のある人は、研修に参加してみませんか。

○期間

①平成19年7月7日(土) 10月7日(日)

②平成19年10月13日(土)

平成20年1月6日(日)

③平成20年1月12日(土) 4月5日(日)

(すべて土・日コース)

○場所

鶴の町(旧高尾野町) 商工会

○募集人員

先着30人(年齢不問)

○受講料 80,000円

※仕事おこし講座・認知症の勉強会・介護予防等特別講座も組み入れています。

【申込・問い合わせ先】

(企) 労協センター事業団出水地域福祉事業所オープンハウス「さくらんぼ」

Tel 0996・82・3678

年金記録をもう一度チェック

この度の年金記録をめぐる問題については、大変ご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

○基礎年金番号にまだ統合されていない年金記録も、大切に保管しています。

平成9年の基礎年金番号の導入以前には、転職や転居等により、1人が複数の年金番号を持つ場合が生じていましたが、1人1番号の基礎年金番号を用いて、年金記録の確認を簡易・迅速に行えるようになりました。

これまで、記録を結びつけるための紹介を全被保険者に行い、年金の請求時にも本人に確認してきましたが、まだ約5,000万件の記録が、基礎年金番号に結びつけられていません。この未統合の記録は大切に保管されていますが、年金支給に結びつかなくなる恐れがあります。

○年金記録問題への新対応策

を進めます。

被保険者・年金受給者の皆さまには、基礎年金番号に結びつけられている加入履歴を順次送付します。疑問があれば、お問い合わせください。

5,000万件の記録を、被保険者・年金受給者の記録とつき合わせ、未統合の記録がある可能性のある人には、お知らせします。

社会保険庁や市町村に記録がない場合には、領収書等の証拠がなくても、銀行通帳の出金記録、元雇用主の証言などを根拠として、第3者委員会で判断してもらう仕組みをつくりまします。

5年の時効を超えた場合でも、金額を支払うことができるようにする特別立法が国会に提出されています。

お客様からの問い合わせには、真摯に対応します。社会保険事務所の専用窓口へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

Tel 0570・05・1165
フリーダイヤル

Tel 0120・657830

太極拳を始めませんか

腰痛やストレスでお悩みの人、運動不足や病気がちの人、誰でも参加できる健康太極拳を始めませんか！

「気功法」「太極拳」に興味のある人、一度体験してみたいと思っている人は、ぜひ一度次の教室の練習を見学してみませんか。

○鷹巣教室

・日時 平成19年6月28日 毎週木曜日

午後8時～午後9時30分

・場所 長島町保健福祉センター

○指江教室

・日時 平成19年6月30日 毎週土曜日

午後8時～午後9時30分

・場所 長島町B&G武道館
体験を希望される人は、お問い合わせください。

【問い合わせ先】

教育委員会 社会教育課
Tel 0996・86・1111
内線2231



↑遺族らが見守る中、さっそく寄贈された一輪車を乗りこなす児童たち

立 鷹巣小に一輪車など寄贈 派な卒業生になって

鷹巣小学校（内野真校長・児童 181 人）の卒業生で、本年 3 月に亡くなった鹿児島市の医師・梅田均さん＝享年（81）＝の遺族 4 人が 5 月 23 日、同校を訪れ一輪車 20 台とピアノ 1 台、桜の木 1 本を寄贈しました。

同日は、体育館で贈呈式が行われ、全校児童を前に妻礼子さん（77）が梅田さんへの思いを語りながら、「児童の皆さん、立派な卒業生になってください」とあいさつ。遺族から児童へ一輪車が手渡されました。

児童を代表して牧夏美さん（3 年）が「練習して上手に乗りたいです。ありがとうございます。」とお礼を述べました。

梅田さんは同校を卒業して医師となり、昭和 30 年ごろから 4 年間、鷹巣で診療所を開設していたこともあります。

↓川沿いを歩き、ホタルの舞を楽しむ参加者



光 第 4 回ホタルウォーク の乱舞を楽しむ

5 月 26 日、川床中スポーツクラブ（追田清和会長）が主催して第 4 回ホタルウォークが開催されました。

川床中央公民館をスタートし、汐見川沿いに山門野ため池で折り返す約 2 ㎞のコースに、お年寄りから幼児まで約 50 人が参加しました。

河川工事の影響で例年よりホタルの数は少なかったものの、子どもたちは目の前を飛び回るホタルを、珍しそうに追いかけていました。ため池上流付近では、まとまった光の乱舞を楽しむことができました。

農 人手不足に東建友会が一役 作業を建設業者が手伝う

高齢化による人手不足を解消しよう。町内の建設会社でつくる東建友会（福山義弘会長）が 5 月 8 日から中旬まで、鷹巣地区の農家の労働力不足を補おうと、ジャガイモ収穫作業を手伝いました。

この試みは、鷹巣地区村づくり委員会から依頼を受けた同会が快諾。畑 1 カ所に 1－2 人が駆けつけ、積み込みや運搬など力仕事を加勢しました。

公共工事の少ないこの時期だからこそ実現したもので、同会員に支払われた費用は、町内のジャガイモ収穫作業の相場程度です。



↑ジャガイモをコンテナへ運ぶ建設会社社員

My Town Topics

地域の行事や身近な話題、耳よりな情報をお待ちしています。

子ども芸術祭典 i n 長島 舞台と会場が一体化

子ども芸術祭典 i n 長島が獅子島アイランドセンターで5月23日、長島町保健福祉センターで24日、長島町文化ホールで25日、開催されました。

祭典では、劇団道化（福岡県）が人形劇「3びきのコブタ」を上演。町内の親子ら約500人が鑑賞しました。観客が劇に巻き込まれる場面もあり、舞台と会場が一体となった、明るい祭典となりました。



↑たくさんの親子連れが観覧した人形劇

↓入所者と触れ合いながら熱唱する南さん



演歌歌手が長生園を訪問 でお年寄り励ます

全国の福祉施設などを巡回し、ボランティアでミニコンサートを行っている演歌歌手の南里恵さんが5月25日、養護老人ホーム長生園を訪れ、持ち歌やヒット曲などを熱唱しました。

南さんは歌いながら入所者一人ひとりと握手をして会場を回り、入所者はプロの歌声に、時折涙を流しながら拍手を送っていました。

豊かな海づくり事業 大 くなって帰ってきて

豊かな海づくり事業の一環として、5月11日に小浜海水浴場と汐見海岸で、17日に伊唐沖でヒラメの稚魚の放流がありました。

小浜海水浴場では蔵之元小学校、汐見海岸では汐見小学校の児童たちが大型トラックで栽培所から運ばれてきた約8㌔の稚魚を一人ひとりバケツで運び、海水につかりながらゆっくりと放流しました。

伊唐沖では伊唐小学校の児童たちが、漁船の生簀から次々に海へと稚魚を放流。海深くへと潜っていく小さな魚を見つめる児童たちは、生命の大切さを感じているようでした。

伊唐小学校の中村海斗君（1年）は「ヒラメは小さくてかわいかった。大きくなってほしいと思った。」と話していました。



↑小浜海水浴場で、波に打たれながらヒラメを放す蔵之元小学校の児童たち

←伊唐沖で、漁船から海へ稚魚を放流する伊唐小学校の児童たち

水元さん 梶さん 長年の功績が認められる

↓全国表彰の後、県でも表彰された水元さん



全国漁港漁場協会会長表彰

漁港漁場の建設等に関し多大な貢献をしたとして、幣串の水元保さん（76）が5月24日、社団法人全国漁港漁場協会会長から表彰状が贈られました。

水元さんは、幣串自治公民

館長や獅子島振興会長を務め、国や県など関係機関へ地域の実情を積極的に訴え、幣串地区浅海漁場（浮消波堤）の設置、幣串漁港整備事業など獅子島地域の振興に大いに貢献されました。

さらに、東町議会議員、同議長を歴任し、薄井漁港や葛輪漁港などの整備に尽力されました。今回の表彰は、これらの功績が認められたものです。

表彰式は、東京都港区であった全国漁港漁場協会通常総会において行われ、全国の関係者が見守るなか、水元さんが表彰されました。

県商工会連合会会長表彰



↑表彰状を受け取った梶さん

旧東町商工会女性部の運営に長い間貢献された本町の梶芳子さん（65）が5月8日、県商工会連合会会長表彰を受けられました。

梶さんは、昭和39年から本年3月までの43年間、同部の部長を務められ、出水地区商工会女性部連絡協議会の会長や県商工会女性部連合会の役員なども歴任されました。今回の表彰は、これらの功績に対して贈られるものです。

梶さんが同部長を退任されるのに合わせて、県商工会女性部連合会の通常総会で表彰されました。

ミカン染めをしたハンカチを作ったり、役場に生け花を飾ったりと、他と違った活動を心がけてきたという梶さん。「若い人たちは新しい時代の経営を学び、研究心を持って特色あるお店を築いてほしい」と語っていました。

Nice Smile

ナイススマイル・うぶ声・おくやみ等は、
個人情報保護のため掲載していません。
ご了承ください。

わたしたちの町

平成19年5月31日現在
() 内は前月比

人口	12,031(-1)
男性	5,789(+2)
女性	6,242(-3)
世帯	4,374(-2)

■編集後記

▽町では景観条例を施行し、美しい町づくりを進めています。その先導役となるべく、私たち町職員は率先して町の美化活動を実施していきます。町民の皆さん、一緒にきれいな長島を築きましょう。▽梅雨入りしたのに、ほとんど雨が降りません。異常気象が原因？突然の集中豪雨が心配になります・・・。(濱口)





↑ 東の空に、色鮮やかな雲？が現る

横に伸びた虹

5月31日午前10時45分ごろ、長島から見た東の上空に水平な虹が出現しました。これは「環水平^{かんすいへい}アーク」と呼ばれる現象だそうです。

環水平アークとは、大気中の氷粒に太陽光が屈折し、ほぼ水平な虹が見える光学現象です。虹などと同じ大気光象の一種で、水平弧、水平環とも呼ばれます。国内では年に数十回観測されます。

上空の氷の結晶の方向がほぼそろったときに、この結晶で屈折した太陽光により見える現象で、一般の虹が太陽とは反対の方向に見えるのに対し、環水平アークは太陽と同じ方向に、ほぼ水平に現れます。ただし、低空に雲があると見ることはできません。

